

認知症かもしれない...
と思ったら

早期受診

家族に気になる症状があったとき、「きっと年のせいだ」「どうせ治らないから」などと巻いて、病院に行くことをためらう人も少なくないですが、これは誤った考え方です。

認知症の場合でも、早く診断し、適切な治療や内服を早い段階から行うことで、症状が改善したり、進行を遅らせることができます。早く治療を始めることで、自分らしい生活を長く続けることができます。

受診のポイント

● **かかりつけ医がいる場合**

・ 認知症専門の医療機関に行くのは気が引ける...
そんな場合はかかりつけ医に相談しましょう。

● **相談方法はさまざま**

・ 本人を目の前に、家での様子や困ったことを伝えにくい場合は、要点をまとめて手紙にして医師に伝えましょう。
・ 本人が受診を拒否する場合は、家族だけで相談に行くことも可能です。

● **医師の様子を伝える際のポイント（メモする場合は）**

・ いつ、どんな時、どんなことが心配なのか、困っているのかを伝えましょう。
・ 普段の生活がよくわかる人が一緒に同行しましょう。
・ 処方薬、お薬手帳を持参しましょう。



気になった方はまず相談を

* 受診になかなかつながらない場合、受診した方が良いか悩む場合は、**地域包括支援センターへご相談**ください。
(市内のサポート医と相談し、チームで支援する方法もあります。)



認知症に関する医療機関



医療機関名	住所	電話
本田脳神経外科クリニック★	阿賀野市下条町13-12	0250-63-1111
脳神経センター阿賀野病院★	阿賀野市保田6317-15	0250-68-3500
あがの市民病院神経内科	阿賀野市岡山町13-23	0250-62-2780
黒川病院認知症疾患医療センター	胎内市下館字大開1522	0254-47-2640
有田病院	新発田市金谷197	0254-22-4009
新潟県立新発田病院神経内科	新発田市本町1-2-8	0254-22-3121

★マークの医療機関は、阿賀野市の認知症サポート医がいる医療機関です。



ご存じですか？若年性認知症のこと

若年性認知症とは

認知症は高齢者の病気と思っていませんか？
しかし実は働き盛りでも発症することがあります。

若年性認知症とは、18歳以上65歳未満で発症する認知症の総称で「働き盛りの認知症」といわれています。

働き盛り世代の発症は
生活に様々な影響が...

職場では：仕事のミスが増えて、仕事に支障がでる
家庭では：調理や洗濯など家事が難しくなる
経済面では：仕事が続けられなくなることで、
休職・失業によって収入が減る



黒川病院認知症疾患医療センターには、

若年性認知症支援コーディネーターがいます。

****若年性認知症に関する相談に活用ください****

早期に受診